

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.51)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.51)による変更点をまとめたものです。 [18年6月1日リリース予定]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、18年6月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2018年6月1日
一般社団法人 日本自動車部品工業会
製品環境部会

<Ver.2.51による改正内容一覧表>

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
I. 記入帳票	1. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	3ページ
	2. 材料リスト MAT	<ul style="list-style-type: none"> ・JISの変更に伴い、整合化しました。 ・IMDSLレコメンデーション001aとの整合化をしました。 ・「材料リスト補足説明資料」を参照願います。 	4ページ
II. 外部リスト	3. 化合物リスト IMDS_SUB	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。 ・これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。 ・REACHのSVHC(高懸念物質)のフラグを追加しました。(2018年1月15日追加分) 	5ページ
	4. 化合物のGADSL分類 IMDS_CATEGORY	<ul style="list-style-type: none"> ・GADSL改正(2018 Version1)に合わせ修正しました。 	(なし)

I. 記入帳票の改正内容

1. 表紙

JAMA/JAPIA統一データシート

Ver.2.51
2018年6月1日

＜変更点＞
バージョン、日付を更新
しました。

JAMA/JAPIA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

＜2018年6月1日＞

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.51)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2018 GADSL Version 1)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2018年1月15日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

＜変更点＞
改正内容を追記
しました。

＜2017年10月1日＞

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.50)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2017年7月7日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

＜2017年6月1日＞

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.41)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2017 GADSL Version 1)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2017年1月12日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

2016年以前の改正内容は、非表示としました。

II. 外部リストの改正内容

2. 材料リスト

IMDSLレコメンデーション001aとの整合化のため、鉄、ステンレス系の焼結金属の材料分類コードを1.1.1および1.1.2から1.1へ変更致します。なお、鉄以外の焼結金属(銅など)は変更ありません。

<IMDSLレコメンデーション001aより抜粋>

<p>1.1: 鉄鋼/鋳鋼/焼結金属</p>	<p>この材料分類は選択可能ですが、分類1.1.1または1.1.2に該当しない場合のみ使用して下さい。</p> <p>材料分類1.1.1または1.1.2が適さない場合は、<u>焼結金属(融点より低い温度による加圧成型)を1.1として分類する事が出来ます。</u></p> <p>焼結は、金属粉を融点より低い温度で加熱することにより、金属粉から成型体を形成する工程です。</p> <p>サイズの小さい金属体の製造では、鑄造が現実的ではないことがよくあります。化学処理または機械加工により、金属の微細粉を製造することができます。その金属粉を目的の形状に圧縮し、最大で3時間継続して加熱処理することにより、金属粉の粒子が相互に結合し、単一の金属固体が形成されます。</p>	<p>Sint-D01 P1011Z</p>
------------------------	---	----------------------------

<変更対象数>

材料分類	件数
1.1.1	6
1.1.2	45

注意： 過去データはエラーチェックを実行するとエラーとなりますので、その場合は材料を再選択するか手動で材料分類1.1に修正してください。

<事例>

構成材料名称(英語)	構成材料名称(日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VD材料分類 コード
Sintered Metal Materials (Iron materials)	焼結材(鉄系)	JAMAA4444	SINTERFE		1.1.1⇒1.1
Sintered Metal Materials (Stainless steels)	焼結材(ステンレス系)	JAMAA4444	SINTERSLS		1.1.2⇒1.1
Sintered Metal Materials (Copper materials)	焼結材(銅系)	JAMAA4444	SINTERCU		3.2⇒変更なし

3. 化合物

2015年6月の改正以降、BPR*関係の物質については、GADSLに特別な判断の記述がありますので引き続き、注意して対応いただく必要があります。

*: Biocidal Products Regulation 欧州殺生物性製品規則

<内容>

GADSLでの“Biocidal coatings / biocidal additives, selected”の区分のつけ方

使用許可⇒「D」、一つ以上の用途(Product Type)で禁止⇒「D/P」



JAMAシートでは、GADSL区分に従い、単純に“「D」⇒茶、「D/P」⇒紫、「P」⇒赤”としていますが、殺生物目的で使用しない場合など、条件により対象外となります。

⇒他の「D/P」「P」と同じように規制の対象と判断すべきではありません。

2018年6月時点では、IMDSおよびJAMAシートにてBPRのための調査項目・機能が適用されています。BPR関係の物質の含有がある場合、IMDSおよびJAMAシートそれぞれの回答方法に従って対応をお願いします。なお、引き続き、サプライチェーンに過剰な負荷(部品メーカを起点に不必要な再調査、切替要求等)を掛けることを自粛いただくことをお勧めいたします。

(補足説明) 旧バージョンとの互換性について

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.51の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.01 ~ Ver.2.50)は、

エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.01 ~ Ver.2.50)にて作成したCSVファイルでも

取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、

エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。